

# 山梨県立やまびこ支援学校 第1回学校運営協議会 議事録

## 1. 学校概要説明

- **沿革と環境**：昭和54年に大月市で開校。令和2年1月に猿橋町桂台の新校舎へ移転し、全面バリアフリー化を実現。
- **在籍児童生徒数**：現在は49名と減少傾向（10年前は約85名）。ただし、地域の小・中学校からの転入（特に小学部）が増加しており、来年度の新入生見込みを含めると次年度は50名以上に微増する見込み。
- **障害の傾向**：知的障害に加え、自閉症スペクトラム（ASD）等の発達障害を重複して持つ割合が増加。
- **通学区域と寄宿舎**：学区は東部地域だが、今年度は大月・都留・上野原市の在籍者が中心。寄宿舎生が1名のため、有効活用として「体験入舎」「教育入舎」を計画中。
- **高等部の授業刷新と現場実習**：「職業」の授業を充実させ、「職業Ⅰ」は社会人としての資質を学ぶ学習を火曜日の一コマに設定し、「職業Ⅱ」は木曜日の1日を通して作業的な学習を行えるよう設定した。また、年間2回（各2週間）の現場実習（1年生は校内実習から）を実施している。
- **地域連携**：講師を招く地域人材活用事業、月1回程度の「カフェ・ベル」の地域開放、近隣の清掃などを教育課程に位置づけている。

## 2. 議事

### (1) 学校教育計画の承認

- **校長より**：令和8年度 学校教育計画として「自立と社会参加」を目指す目標と、各学部の発達段階に応じた指導重点を提示し、委員一同より承認をいただいた。
- **教頭より**：R7 学校評価報告並びに R8 学校重点目標に関わる具体的方策について説明した。昨年度の評価（地域連携や実習先開拓の有効性）を踏まえ、今年度は「地域との関わりや共同学習の継続」「実習を通じたコミュニケーション能力の育成」などの方策を推進することで同意をいただいた。

### (2) 今年度のコミュニティスクールについて協議

- **校長からの提案**：本校児童生徒と地域との関わりを広げる目的で、「やまびこまつり（本校学園祭）」において、従来の午前中で終了する日程に加え、午後の時間帯に地域の福祉事業所等を招いた「マルシェ（物品・食品販売）」を開催できないか。委員のご意見をいただきながら、運営面でも協力を求めたい。

- **協議内容:**
  - **委員 A(福祉事業所代表):** 地域福祉事業所の交流意欲は高く、7月の会議で出店希望等を集約する。事前にイメージ案がほしい(学校側は賛同が得られれば、本校でも検討を始め、具体案など精査して提示すると回答)。
  - **委員 B(地域代表):** 先生方の負担過多を懸念(学校側は、午後は会場提供を基本とし、児童生徒は保護者付き添いでの参加を想定していると回答)。
  - **委員 C(保護者・PTA):** 保護者付き添い参加は可能。カフェ開放や保護者のフリマ出店等も面白い。学園祭と別日に単独で行うのもよいのでは。
  - **校長:** 学園祭は保護者が最も集まりやすい日であるため、同日開催が最適。
  - **委員 D(保護者 OB) :** 現役保護者は午前中の発表見学で多忙だが、卒業生保護者(OB・OG)のネットワーク(現状約14名)を活用すれば運営協力は十分に可能であり、開催に大賛成。
  - **委員 E(大学関係):** 学生ボランティアを募り、当日の運営サポートで協力可能。
- **結論:** 外部の力を活用して教職員の負担軽減を図る方向性が見えたため、メイン事業として「やまびこマルシェ開催」の方向で、具体的に進めることを承認。

#### 4. 委員による感想・意見交換

- **委員F:** 地域の小・中学校の特別支援学級が上限人数等で限界を迎えている現状があり、手厚く専門的な支援を求めて本校へ転入するケースが増えていると感じる。
- **委員G:** 少人数に対するきめ細かな指導と、パソコン等のICT技術を使いこなす素晴らしい教育環境を評価。
- **委員H:** 子供たちの生き生きとした表情が印象的。医療的ケア児のインクルーシブ教育の課題からも、本校のニーズは今後さらに高まる。
- **委員I:** 地域に開かれた場所として、地域住民にグラウンド開放ができないか。
- **校長:** 体育館の団体利用は可能だが、個人の一般開放はセキュリティと管理責任の観点から一律でお断りしている旨を説明した。

#### 5. 事務連絡および次回日程

- **第2回 学校運営協議会:** 10月29日(木)13:30～。マルシェの最終打ち合わせを予定(事前に有志による準備会を行う予定あり)。
- **第3回 学校運営協議会:** 1月28日(木)13:30～。当日は高等部の「カフェ・ベル」営業日のため、会議前の利用を推奨。

#### 6. 閉会

- 教頭より、地域や関係者の協力を得ながら特色ある学校づくりに邁進する旨の挨拶があり、閉会。